

1. 単元名 「現代の民主政治」

2. 単元の目標

- ・民主主義による意思決定プロセスの重要性や選挙が行われることの意義と、政党やマスメディアの役割について理解する。 (知識・技能)
- ・選挙の投票率低下の問題について、より多くの人が選挙に参画していくためにはどのようなことが必要であるか考察できる。 (思考・判断・表現)
- ・選挙の投票率低下の問題について、その問題の解決を目標として、具体的に自分たちができることを他者と協力して取り組んでいこうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領解説社会編 公民的分野の大項目 C「私たちと政治」の中項目(2)民主政治と政治参加に位置付けられている。学習指導要領解説では、「個人の尊重と法の支配、民主主義など、法に基づく民主政治の基本となる考え方に関する理解を基に、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察、構想し、表現することができる適切な問い」をもとに、「地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成すること」が求められている。また、選挙を扱う際には、「選挙に関する具体的な事例を取り上げて関心を高め、選挙が、主権をもつ国民の意思を政治に反映させるための主要な方法であり、議会制民主主義を支えるものであること」の理解を基に、「正しい選挙が行われることや、選挙に参加することの重要性について理解を深めることができるようにすること」が求められている。

本単元の扱う内容について、民主主義は、歴史的に考えていくと、近代化する社会のなかで、人々が獲得してきた権利であり、SDGsをはじめとした世界的な取り組みを公平かつ公正に進めていくためには、人々が話し合い、対立と合意を繰り返しながら意思決定を図っていくこととする民主主義の意義とその遵守ということが必要不可欠であると考えられる。また、そのような民主主義をデマや誤情報で溢れることのない健全な状態に保つために、メディアや政党の果たす役割は非常に大きいと考えられる。しかし、直近の選挙では、2025年の参議院選挙で投票率58.51%と大きく投票率を上げたものの、2024年の衆議院選挙では投票率が53.85%と戦後3番目の低さを記録するなど、依然として投票率が決して高いとは言えない状態が続いている。

このような状況の中で、民主主義の意義を理解したうえで、メディアや政党が発信する情報を吟味しつつ、将来投票権を得た際に投票行動に移していくことのできるような授業が必要であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、今年度奈良市議会議員選挙があったこともあり、選挙というものに対しては比較的身近に感じているように思われるが、その一方で授業中に選挙カーが回っていることに対して「うるさいなあ」という声があるなど、選挙に関わる身の回りの出来事に対して自分自身に関係するものであるという認識はまだ持つことができていないように考えられる。

したがって、本単元を通して、生徒のもつ選挙へのプラスの印象やマイナスの印象を初回の授業で引き出して、生徒の持つ選挙へのイメージを教員も共有しながら、選挙に対するプラスのイメージを持ち、選挙に参加することの重要性について理解を深め、積極的に参画しようとする態度をもってもらえるようにしたい。

(3) 指導観

教科書では、民主主義がどのような考え方であるかを学んだあとに、民主主義を体現していく選挙と、選挙を実施するうえで大きな役割を果たすマスメディアや政党の果たす役割についての内容が続いている。そして、選挙の投票率の低下という現代の諸課題に対しどのように向き合っていくべきなのかという問いについて考えていくことのできる構成となっている。

したがって、本単元の授業では、学習指導要領の構成に従い、「投票率の低下に対して私たちができることは何か」を大きなテーマとしながら、選挙の投票率を示す際に直近の国政選挙や地方議会選挙の投票率を用いるなど、生徒自身が政治に参加していくことの必要性に気付くことができるように指導していく。

第1時では、選挙について歴史で学習してきたことについて振り返り、民主主義に関わる多数決や少数意見の尊重などの考え方や、議会制民主主義を支える選挙の役割について、教科書とワークシートで確認していく。その後、「なぜ選挙をするのか」という問いかけをして、選挙に対するイメージを生徒からどんどんだしてもらおうようにする。

第2時から4時では、「選挙の海外との比較」、「政党」「選挙へのメディアなどによる情報発信」「日本の選挙の実施方法や関係する法律」などの教科書内容に基づいたトピックと、生徒から出てきた興味関心に合わせたトピックを合わせて調べ学習を行い、その内容を第3時で発表できるようにスライドなどにまとめる。具体的には、「選挙に関わる人々とその役割」など、選挙を運営する側の人々に目を向けたものや、「どのように選挙が行われるか」などの選挙の流れに着目した疑問が生まれることが考えられる。

そして、そのスライドを用いて発表を行い、発表を聞いた生徒は、重要と感じたことをワークシートにまとめる。

第5時・6時では、奈良市の首長を決める模擬選挙を実施する。選挙の候補者については、生成AIを用いて「現在の奈良市にふさわしい市長の候補の経歴と選挙公約」を作成し、それぞれの候補について政見放送も可能であればAIで作成する。第5時では、生徒はそれらを踏まえて投票をして、なぜその候補に投票しようと思ったのかについてワークシートにまとめさせる。そのうえで、第6時ではなぜその候補に投票しようと思ったのかについて話し合ったうえで再度投票を行い、投票に関する判断基準に変化が生じたか、模擬選挙を通してなぜ選挙が大切なのかと感じたことや場面についてワークシートに記入させる。

第7時では、直近5回の奈良市議会選挙、奈良市長選挙、衆議院選挙、参議院選挙の投票率を通して、日本の選挙の課題として、投票率の低さがあるということに気づかせる。そして、選挙により多くの人に参加していくために、社会の変化が必要なことと個人の変容が必要なことをそれぞれまとめる。

第8時では、第7時でまとめたことを発表したうえで、自分自身が取り組んでいきたいことをまとめた「行動宣言」をまとめていく。

以上の学習を通して、選挙の重要性について理解し、他者の意見を尊重しながら社会の一員として選挙に主体的に参画していくことのできる態度を育成したい。

(4) ESD との関連

●本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

・公平性

「誰かが選挙に行けばいいや」ではなく、投票権をもつ人々が投票行動を行うことの必要性に気付く。

・責任性

民主的な社会の一員として、選挙への参加は重要なことであることに気付く。

●本学習で育てたい ESD の資質・能力

・進んで参加する態度

実際に選挙権をもつ年齢となった際に、選挙に進んで参加することができるようになる。

●本学習で変容を促す ESD の価値観

・人権、文化を尊重する

選挙では、多様な考えをもつ有権者がいることに気付き、それぞれの考えを尊重しながら自身の投票行動につなげていけるようになる。

●達成が期待できる SDGs

4. 質の高い教育をみんなに

(4.7 2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。)

16. 平和と公正をすべての人に

(16.7 あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。)

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①民主主義や選挙の意義と、それらに関わる政党やメディアの役割について理解している。 ②模擬選挙を通して、選挙がなぜ行われるのか理解している。 ③選挙により多くの人が参加していくことの意義について理解している。	①選挙に関わる政党やメディアや海外の選挙に関することなどについて調べ、調べたことを他者に伝えるようにまとめている。 ②模擬選挙で、自身がなぜその候補に投票したのか根拠をもって他者に説明し、他者の説明を踏まえて自身の投票について振り返りをしている。 ③選挙により多くの人が参加するための具体的方策について、他者と話し合い案をまとめている。	①民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

5. 単元の指導計画(全8時間)

時間	主な学習活動(●)、内容(・)	学習への支援(■)	評価(○)、備考(◇)
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ●選挙や民主主義の歴史やその制度について学ぼう ・民主主義や選挙権の獲得の歴史について、これまで学んできたことを復習する。 ・その際に、プリントで復習するのではなく、パワーポイントを活用してクイズ形式で進めることのできるものにする。 ・その上で、民主主義に関わる多数決や少数意見の尊重などの考え方や、議会制民主主義を支える選挙の役割について、教科書とワークシートで確認する。 ●なぜ選挙が行われるのか考えよう ・様々な民主主義に関する考え方を知ったうえで、なぜ選挙が必要になるのか考える。 ・その上で、選挙に対して持っているイメージを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒がこれまで学んできたことを思い出せるように、民主主義についてはイギリスやアメリカなどの国名、日本の選挙権獲得については、普通選挙法などのキーワードを出しつつ、これまで学んできた知識が関連したものとなるようにする。 ■選挙に対して持っているプラスやマイナスのイメージを話してもらおうようにする。 	<p>○知識・技能① (ワークシート)</p>
第2時・第3時	<ul style="list-style-type: none"> ●民主主義を支える選挙は、どのように行われ、どのような人が関わっているのか調べてみよう ・「選挙の海外との比較」、「政党」「選挙へのメディアなどによる情報発信」「日本の選挙の実施方法と関係する法律」など、教師が設定したテーマに生徒が考えたテーマを加えて、6つほどのグループに分かれて、資料やインターネットをもとに調査する。 ・調査した内容を、次回他の生徒に発表できるように5分程度の発表にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒から考えたいテーマが出てこないときには、直接的にならない程度に考えて欲しいテーマが出てくるよう、机間を回りながら声をかけてみるなどして支援する。 ■発表の方法については、パワーポイントや Google スライドなどでまとめたり、模造紙にまとめたりするなど、各班でまとめやすい手法を取る。 	<p>○思考・判断・表現① (発表に向けた成果物)</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度① (発表に向けた成果物)</p>

<p>第4時</p>	<p>●第2時で調べたことをクラスの他の人に共有しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2時で作成したものをを用いて、5分程度で調べたことについて発表する。 ・発表を聞いたうえで、各班の発表のうち大切だと感じたことについてワークシートにメモをする。 	<p>■ワークシートについて、それぞれの班の発表分の枠を作り、時間があれば大切だと思ってメモをした部分を何人かの生徒に聞く。</p>	<p>○知識・技能① (ワークシート)</p> <p>○思考・判断・表現① (ワークシート)</p>
<p>第5時</p>	<p>●模擬選挙をやってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良市の首長を決める模擬選挙を行う。3人の候補の主張と、これまでの実績から誰が首長にふさわしいか理由も考えて投票する。 ・それぞれなぜその候補に投票しようと思ったのか、ワークシートに書いてまとめておく。 	<p>■この段階では、なるべく他人と相談せずに、今の段階の自分の考えや価値観にあう候補に投票するようにさせる。</p> <p>■次の時間に向けて、ワークシートをしっかりと書いておくように伝える。</p>	<p>◇生成 AI を用いて「現在の奈良市にふさわしい市長の候補の経歴と選挙公約」について奈良市議会の各政党や議員の会報をもとに作成し、それぞれの候補について政見放送も作成できれば AI で作成する。</p> <p>○思考・判断・表現② (ワークシート)</p>
<p>第6時</p>	<p>●模擬選挙を振り返ってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回記入したワークシートをもとに、なぜその候補に投票したのかを話し合う。 ・他者の話を聞いたうえで再度投票を行う。その際の投票に関する判断基準に変化が生じたかをワークシートに記入する。また、模擬選挙を通してなぜ選挙が大切なのかと考えた場面についてワークシートに記入する。 	<p>■自分と違う考えだから話を聞かないというのではなく、他者の考えを尊重しながら話し合いを進めていこうと伝える。</p> <p>■判断基準に変化が生じなかった生徒については、なぜ判断基準が変わらなかったのかということについて考えさせるようにする。</p>	<p>○知識・技能② (ワークシート)</p> <p>○思考・判断・表現② (ワークシート)</p>

<p>第7時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の選挙の現状について知ろう ・直近5回の奈良市議会選挙、奈良市長選挙、衆議院選挙、参議院選挙の投票率をみて、感じたことを話し合う。 =投票率の低下という現代の選挙の抱える課題に気付く。 ●選挙により多くの人が参画するために、私たちができるとはなんだろう。 ・選挙により多くの人が参画するために、社会が変わらなければならないこと、自分たちが取り組んでいくことができることについて考える。 ・考えたことを、それぞれ個人でワークシートにまとめて、次の時間に他者に発表できる用意をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会が変わらなければいけないことについては、例えば海外との投票率との差を生み出していた社会的制度の違いはあるかなど、これまでそれぞれが調べてきたことを生かすことができるような視点から考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能③ (ワークシート) ○思考・判断・表現③ (ワークシート)
<p>第8時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●第7時で考えたことについて、クラスの他の人に共有しよう ・第7時のワークシートにまとめたことを、3～4人の班に分かれて発表する。 ・他の人の発表で自分もできると感じたことは、それぞれの発表が終わったタイミングでメモを取る。 ●個人での「行動宣言」をまとめよう ・他の人の発表を踏まえて、自分に取り組んでいきたいことを「行動宣言」をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■それぞれの考えたことについて発表する時間にメモを書いってしまうことがないように、それぞれの発表後にメモを取るタイミングを設ける。 ■先ほどまとめた自分たちが取り組んでいくことができると、他の人の発表を聞いてできそうだと感じたことを中心にまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能③ (ワークシート) ○思考・判断・表現③ (ワークシート) ○主体的に学習に取り組む態度① (ワークシート、行動宣言) ◇教師は生徒の行動宣言をまとめて、後日生徒に配布する。